

今月のさがあお豆知識

NO.55

いきものたちの歯は、形状や数、大きさなど種によってさまざまです。自然界のいきものたちにとって歯は、失うと獲物を食べられなくなり命に関わります。だから、人間のように歯磨きなどのケアをしなくても、健康を維持するユニークな仕組みや習性を備えていることがあります。今回は大きなお口のカバについて注目！



【基本データ】 偶蹄目（ぐうていもく）カバ科
体長：3.5～4m 体重：オス約 1.5t メス約 1.3t
食性：草食性で主に草を食べる
寿命：野生で 40 年程度
歯の数：門歯・犬歯・臼歯を合わせて 40 本
食事：日中は水に浮いたり、水辺で寝転んだりして過ごし、夜は陸に上がってきて約 35kg の草を食べます。

門歯と犬歯は永久に伸び続ける！

カバは生後7ヶ月頃に乳歯から永久歯へ生え替わります。

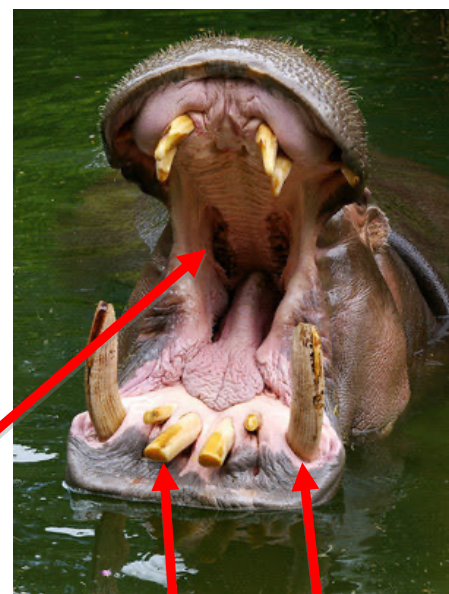
この犬歯が意外と凶暴なカバにとっては、縄張り争いや肉食動物と戦うときの強力な武器になるのです。ただし長すぎると不便なのか、野生の場合は自分で硬い木の根など食べて削ると言われています。飼育ではノコギリで切ったりする場合もあるそうです。

口の開く角度はナント 150 度！

大きく口を開けている姿はよく見かけますよね？

大あくびをしているのかと思いきや、縄張り争いで勝つために自分を強く見せているのです。その角度はクジラやワニよりも大きく、150度にもなります。

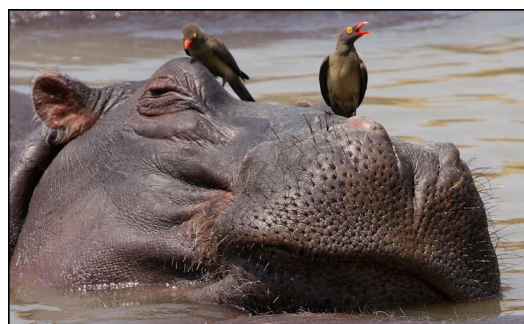
口が大きいほどメスにモテるそうですよ♡



臼歯

門歯（切歯）

犬歯



野生ではアカハシウシツツキという鳥が歯やお口を掃除してくれているんだよ。

歯が黄色いのはエナメル質の色！汚れて黄ばんでいるわけではありません。人間の歯とは異なり、歯の表面を覆っているエナメル質の色が黄色いからです。ビーバーなどオレンジ色の歯をした動物もいます。

